

新年明けまして
おめでとうございます。

誰も経験したことのない経済危機が押し寄せています。
身動きせずにジッと堪えるのか、
変革に向かって一步踏み出すのか、
それぞれ局面で判断が大切な一年です。
皆様の生活が少しでも改善できるよう職務に努めます。
吹雪の中でも希望の灯を絶やさないでください。

秋田県議会 ● 会派 i b u k i

元氣主義



県政報告 & 会派いぶき活動レポート

2009
冬 通巻 23
平成21年1月1日



秋田県総合振興局設置条例案を記名投票

現在の8地域振興局を3総合振興局(北・中央・南)と5地域振興局に再編する案。総合振興局では地域振興局が担っていた管理部門や経理部門などを集約、広域課題の立案なども行う。地域振興局は地域に密着した業務を引き続き行う。記名投票の結果、この条例案は賛成少数で否決された。

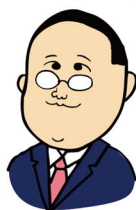
緊急課題は
経済・雇用対策



百論より実行の年に!

門脇は思います

「悠長に再編議論 している余裕はないはず！」



12月県議会は最終日の12月19日に本会議を開き、議論が続いていた地域振興局の再編条例案を賛成少数で否決。条例案と連動していた補正予算（振興局の財務システム改修費等）を減額した修正案を、賛成多数で可決しました。

地域振興局再編案を再び否決



振興局再編条例案の賛否をめくり、会派いぶきの中でも意見が分かれました。「県政史上、非常に希な同一会派による賛成・反対討論（賛成・反対の理由を発言し、賛同者を募る演説）」でした。理由があります。

まず、「議員は個々の考え方、地域代表として背負ってきたものも違う。会派内で議論に議論を重ね、それでも意見の一致をみない案件は個の主張を尊重する」とした会派設立時の約束があったこと。さらに「前回9月時点で会派全員が反対を表明していることから、賛成・反対どちらにしても根拠を明確に県民へ伝える責任がある」と考えたためです。

東海林議員と自分や淡路議員の主張の違いは、「一歩踏み出すか、今こそ熟慮か」だけでした。

自分は、この不況の中で、県議会が振興局再編の議論を、いつまでもしている余裕などないと思っています。

「秋田県総合振興局設置条例案」について、賛成の立場から討論を行います。今なお不安を抱えながら苦渋の表明です。

9月の提案に対し、いぶきは会派で反対を主張しました。行財政改革の必要性は当然認めながらも、その手法が単なる職員の削減では本質的な再構築にならないこと、国・県・市町村・そして民間が担うべき役割の検討、組織再編の多様な姿を比較する素材不足、市町村や地域社会との関係など、数々の疑問があったからです。

今回の提案は、当時と比べると地域への配慮が盛り込まれた内容だったと思います。ただ3つの総合振興局、5つの地域振興局と言ふ提案には必然性を見いだすことが困難です。

しかし、行財政改革を躊躇する余裕など、秋田には以前からなかった、平時で

再編条例案 賛成の 討論内容



も後がない財政運営が続く中、加えて過酷な世界的金融危機は起こり、9月議会の時とは大きく経済情勢が変化しました。この状況下では、行政は最大限の努力を払い、可能な限りのコスト削減、可能な限りの財源確保を一日も早く実現することが肝要です。

約1兆2000億円もの県債残高を抱えている

う上に、さらなる行財政改革の中期見通しと比較しても、20年度で約70億円、21年度では約100億円の収収不足が懸念されています。

収入の確保に知恵を絞り、支出を極限まで抑え、その分を緊急的に経済対策・雇用対策へ投入し、中・長期的には産業振興・生活支援

などの政策予算を確保すること、これが不況と解雇の不安に直面した県民の、率直な要望です。市町村をどのようにサポートできるのか、総合振興局が屋上屋的組織になりはしないか、新設される産業振興課が実を上げる仕組みづくりはどうするのか、本庁部局や試験研究機関の統廃合、職制の見直し、民間や他団体との新たな公システム構築など、解決すべき課題は山積みですが、険しい行財政改革に向かって直進するしかない道

のりで、県議会が足踏みをしていて良いはずがありません。今は走りながらも、基礎的組織を再編し、随時検証と見直しを繰り返すこと、問題点は解決できると認識します。

一歩踏み出さなければ始まらない、その思いをお伝えしたくて登壇しました。ご賛同をよろしく願います。

ものづくり

始まりから めよう

石川県
金沢市を
訪ねまし

た。金沢はもの
づくりが盛んで、
伝統工芸が生活
の中に息づく街
です。「金沢漆
器、九谷焼、加
賀友禅、輪島塗、
金箔箔…」のお
店が軒を連ねま
す。様々な歴史
館、美術館でも
体験コーナーが
設けられ、伝統
工芸、ものづくりの精神を
継承するんだと言う想いが
ビシビシ伝わってきます。



食も魅力です。和菓子店
には喫茶コーナーがあり、
抹茶と一緒に甘味を楽しむ
ことができます。市場は海
の幸・山の幸の宝庫です。
加賀野菜（石川県認定の15
品目）は最近特に注目度が
増し、この野菜料理が目当

ての観光客もいる
とか。季節の海産
物はもちろん、芳
醇な薫りの地酒、
魚料理にびったり
の大野醤油、加賀
麩や佃煮、漬物物
など、風土と技術
に裏打ちされた品
々を求める人で賑
わっていました。

ものづくりを支える精神

藩政時代から職人文化・
食文化が発達した金沢では、
伝統を進化させ、現代ニ
ズへの対応、新しいデザイ
ンや使い方を産み出すシス
テム（県立・市立の研究機
関や大学など教育機関）が
あり、それがものづくりに



絶えず活
かされて
います。
参考にな
る言葉を
見つけま
した。金
沢市の

「ものづくり条例(仮称)」の
中で、『ものづくりは産業
の礎で、地域の持続的な発
展の一翼を担っている。も
のづくりの大切さや誇りを
再認識し、担い手である、
ものづくり事業者の挑戦を
地域で応援しなければいけ
ない』と、その考え方を示
しています。

秋田に必要なものづくり政策

秋田県に視点を戻して考
えてみます。予算を見て感
じるのですが、一生涯命
に企業誘致に頑張っていま
す。もちろん大切なことで
す。ただ地域の伝統的産業
農業や林業、水産業がおざ
なりになっている気がして
なりません。
11月議会の総括審査で自

分は、「秋田県の法人事業
税は一部の固定的な大企業
に支えられている。しかし
不況で減収は避けられない
状況だ。税収対策で言うな
ら、多彩な分野の小規模経
営体でものづくり産業を支
援したほうが、リスクの分
散になる」と。

大企業は県内でも特定の
都市部に片寄って存在して
いる実態があります。雇用
力から見ても、度が過ぎれ
ば正に格差です。現在の厳
しい経済状況だからこそ、
小さくても熱心にもものづく
りを行う個人・団体・企業
を県民総参加で応援しなけ
ればいけません。これは農
林産物生産にも、またこれ
らを原料とした加工分野に
も共通する課題です。

仙北市が秋田を変える

仙北市は、伝統工芸や観
光、食材の豊富さなどで羨
望の地域ですが、これらが
別々に存在しているのは地域
力になりません。伝統を踏
み台に新しいものづくりに

挑戦し、さらに融合させる
取り組みを続ける金沢市を
見て、同様の素地があるの
は、秋田では仙北市だと確
信しました。不足する教育
・研究機関は仙北市内の県
立高校に工芸学科（木工・
陶芸・染物・塗り物・ガラ
ス・デザイン等）を開設し
対応してはどうでしょう。

マネーゲームで世界経済
が破綻した今、基本に帰り
ものづくりから始めて秋田
を興す、そのリーダー役は
仙北市が担っていると感じ
ます。



樽川 隆さん
美郷町・ニューファーム千畑

ニューファーム千畑は、平成15年に設立した特定農業法人です。集落で会合を30回以上開催し、全員が納得するまで話し合っでの設立でした。16年から主にほうれん草、リンドウ、セリ、枝豆、山椒などを栽培しています。法人だから利益の追求は当然必要です。作物販売利益に加え、国の農業政策のうまみ、補助金を最大限引き出して経営はやつと安定します。そうでなければ現段階では地域農業は成り立ちません。他の地域ではもう5年程度で農業に従事する人がいなくなるかも知れません。農家も経営体として、自分たちの職場を自分たちでつくる気構えが必要です。本当に集落自体が消滅してしまう危機的状況です。今年は直播栽培を導入し、作業を効率化しました。その分の労働力と時間を、他の作物に振り分けています。またできるだけ農業機械を持たないことにしています。必要な機械は近くの農業法人からリースします。地域での雇用力は年間延2300人程度あります。農業政策を熟知し、国の動向に敏感に反応できないと農業は経営できません。



藤嶋佐久榮さん
北秋田市・栄物産

大野台経営伝習農場で農業を学び、親父が始めた稲作経営に加わりました。冬は出稼ぎに出ていましたが、そこで留学資金を得るために働く若者の懸命さに感動し、自分もこのままではダメだと一念奮起。英語が全くできないままカリフォルニア州スミスリバーの酪農研修に飛び込みました。大規模農業に圧倒されて帰国。合川でなければできない農業を模索してポニー牧場をスタート。10年ぐらいで客足が減ってしまって…。経営機軸を施設園芸に変更し、野菜や花の栽培に取り組みました。オランダの花栽培のスケールを見て、誰もやらない商品づくりが必要と感じ、山菜やツマモノ生産を始めました。これまで80種類ぐらいの作物を手がけたかな。現在はコゴミ、山椒、小菊、行者ニンニク、モミジ、柿の葉など30品目を出荷しています。最近強く感じることは人間は万能だと言うこと。機械は確かに作業時間が短縮できますが、それしかできない。人間は何でもできる。だから経営の宝物は働きに来てくれる近所の皆さんです。



先進的農業経営者の言葉

会派いぶき農業調査より

新しい一年がスタートしました。とにかく前に進むことを心がけましょう。ところで「あおいくま」を知っているでしょうか。「あ↓焦るな、お↓怒るな、い↓急ぐな、く↓悔やむな、ま↓負けるな、この頭文字を取って縮めたものです。元氣が出る言葉なので覚えてください。百年に一度の経済危機と言われていますが、チャンスはピンチの姿でやってくる…です。みつひう

編集後記

世界の金融資本市場の混乱に昨年9月以降の金融危機が加わり、外需に依存してきた日本経済は大きく後退。本県でも各分野で生産調整や雇用解雇が起こっています。この状況に対し、県は昨年の9月補正から緊急経済対策事業と債務負担行為の設定で、約71億もの公共事業投資を行いました。食と農

緊急経済対策について

の応援ファンドや金融・中小企業対策で、融資制度の新設拡充も図っています。また、地域経済に波及効果が高いと言われる住宅取得の支援メニューの立ち上げ、雇用対策本部の取り組みなど、全力をあげて事態の改善に努めています。さらに、1月13日、14日に開会予定の1月臨時県議会では、新たな緊急経済対策予算が審議されることになっています。

【県政報告】

会派いぶき活動レポート

2009・冬号通巻23号
発行者：いぶき代表 門脇光浩
〒010-8570 秋田市山王4-1-1 秋田県議会議会棟内
TEL018(860)2094 FAX018(860)2109

- 門脇みつひろ事務所 仙北市西木町上荒井字新屋10-1
TEL0187(52)5188 FAX(52)5189
- 淡路定明事務所 秋田市土崎港東1-2-79
TEL018(847)1915 FAX(847)1914
- 東海林洋事務所 湯沢市下院内字常盤町107
TEL0183(52)4703 FAX(52)4703

